

項目	観点	教科書名			
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するために、どのように配慮されているか。	新編 新しい保健体育(2・東書) ・「巻末スキルブック」1～20が特徴的。実技の内容をまとめた。 ・巻頭でSDGsと保健の関わりを取り上げるだけでなく、発展著しいテクノロジーと保健・スポーツとの関わり、情報と災害との関わりを取り上げている。	中学校保健体育(4・大日本) ・口絵で健康を支える食事として、理想的な食事例があげられていたり、「私たちの生活とスマートフォン」では、健康で安全な生活を送るためのスマートフォンとの付き合い方の資料が掲載されていたりするなど、現代の中学生の実態にあった問題が提起されている。	最新 中学校保健体育(50・大修館) ・口絵「共生」をテーマにSDGsと保健学習との関わりについて掲載している。 ・「学習のまとめ」において、獲得した知識を活用してプレゼンしていくためのデジタルワークシートがあり、「保体クイズにトライ！」における知識の確認だけでなく、知識を活用して表現する機会が設けられている。	新・中学保健体育(224・学研) ・口絵の「運動、食事、休養・睡眠」データが興味深い。そこから中学生の生活改善への課題を追究できる。 ・随所に将来の職業を考える画像や記述が見られ、キャリア教育の観点が高い。
2 内容の程度及び取扱いについて	○主体的・対話的で深い学びを実現するために、どのような工夫が見られるか。	・教科書とデジタルコンテンツがQRコードとリンクしており、タブレット等を活用した授業を進行することができ、深い学びへとつながれる。他教科の教科書の内容とリンクしており、横断的・発展的な学習が展開できる。 ・ページの終わりに、「広げる」があることで、自分の生活にあてはめたり、さらに深く調べてたりすることができる。また、ICTを活用するような内容になっているため、ICTの活用場面も増える。	・心臓蘇生法4ページ、止血2ページ、外傷2ページ、熱中症2ページと応急手当について広く扱っている。さらに、自然災害に関する内容についての取り扱いも多くなっている。 ・QRコードが多くあり、映像で確認しながら実習を行うこともでき、学びを深めていくことができる。	・「課題をつかむ」では、1、2問の簡単な設問からテーマに導入できるように工夫されている。 ・性の多様性、LGBT、性的マイノリティーに関する特集資料に2ページ割いている。	・ページの終わりに「学びを生かす」項目があり、学んだ知識を活用して、身近な問題、自他の問題として考えることで実践的な課題の解決に向けて取り組めるようになっている。 ・①ウォームアップ、③エクササイズ、④学びを生かすのどの段階でも、協働的な話し合い活動ができるように促している。 ・各章末には「探究しようよ」が掲載されており、学んだことから興味関心を高め、さらに深い学びへと発展させられるよう工夫されている。 ・保健編1章「5調和のとれた生活」が独立項目1ページとなった。
3 内容の配列・分量	○主体的な学習を促すために、教材の配列・内容の系統性に、どのような工夫がみられるか。	・1時間の授業構成が、①見つける②学習課題③課題の解決④発問⑤活用する⑥広げるの6段階になっており、主体的・対話的で深い学びとするための授業の流れが分かりやすく構成されている。	・文章は、左ページ、資料は、右ページに分かれていて分かりやすい構成になっている。 ・グラフや資料の一つ一つが大きく見やすい。 ・「話し合ってみよう」で資料を活用した話し合い活動ができるように工夫がされている。	・章のまとめとしての問題の量が多く、また観点が示されており、評価につなげやすい。 ・教科書内で関連している内容とページが示されており、既習事項を活用したり、今後学習する内容などが分かりやすい。また、関連付けて指導することで学びが深まる。	・1時間の授業構成が、①ウォームアップ、②学習の課題、③エクササイズ、④学びを生かすの4つの流れで構成されており、生徒、指導者が見通しを持って授業が行えるよう工夫されている。 ・見出しを補足する発問があり、常に生徒が課題意識をもって学習できるよう工夫がされている。
4 表記・体裁・資料	○学習内容の理解を図るために、図やイラスト等の表し方や動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの資料について、にどのような工夫がみられるか。	・グラフやイラストなどの資料が他社にはない内容のものが多い。また、デジタルコンテンツの数も多い。 ・見出しを補足する発問があり、生徒が課題意識を持って授業に取り組むことができる。 ・統一性のあるマークやキャラクターが使用されており、分かりやすく親しみやすく感じられるよう工夫されている。	・口絵の分量と配分ページ数が多い。現代的な課題を重点的に取り上げている。例えば、ダイエット、スマホなど。 ・章の項目ごとに発問があり、指導者が授業を進めやすくなっている。	・教科書内のすべての見出しは「○○は○○である」という形式にし、要点を簡潔に示している。生徒の本文りかいは助けるために工夫されている。 ・QRコードから「保体クイズ」ができるのは、ちょっとした息抜きでよい。 ・太字のフォントが、丸ゴシック体でやや見づらい。	・②学習の課題が保健体育科の観点である「わかる」「考える」に分かれており、評価の観点としても、授業への取り組みとしても見通しがもてる。 ・ユニバーサルデザインフォント(UDデジタル教科書体)が採用されていて、太字ゴシックのキーワードがより目立つように工夫されている。 ・学年ごとに主となって使う色が分かれており、各ページ同系色でまとめるなど、色覚の特性に配慮したり、使用する色数を制限したりして、見やすく工夫されている。 ・統一性のあるマークやキャラクターが使用されており、分かりやすく親しみやすく感じられるよう工夫されている。